

2024 年度 各授業学習目標・授業目標 科目名：ピーススタディアドバンスト

<p>高等部教育目標</p>
<p>イエス・キリストを通して、人と世界に仕える使命感と実力を養い、豊かな心と真摯な態度を備えた人格を培う</p>
<p>探究型カリキュラム教育/学習目標</p>
<p>SDGs の達成を目指し、Mastery for Service を体現する世界市民の一員として、国内外の社会に自ら関わり貢献できる力を育成する/身につける</p>
<p>探究型カリキュラムにおける 5 つの学びの方針 Five Principles for Learning</p>
<p>1. 自分事として 2. 社会/実践を通して 3. 知識を大事に 4. コミュニケーションを通して 5. 生徒・教員が共に <オン・トップ/一人称> <PBL 型/アクション> <自ら得る知識/高める関心> <自分/他者のやりとり> <共に探究する関係性></p>
<p>上位学習目標</p>
<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「平和」の定義について、状況に合わせて可変的に語ることができる ・「平和」に関わる社会的課題について、自分の言葉で語ることができる ・「平和」に関わるフィールドスタディを通じて、課題に取り組む現場の人たちや一次資料から生の情報を収集することができる <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「平和」に関わる社会的課題について調べ、その解決方法を提案することができる ・「平和」に関わる様々な価値観や見方を比較検討することができる ・「平和」に関わる社会的課題について調べ、そこから得た知識や考察した自分の意見を他者に伝えることができる <p>【学びに向かう力・人間性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世の中の平和実現のために自分が必要な知識や力を身につける意欲を高めることができる ・自分が関わる社会がより平和なものになるように、自分に何ができるかを考察し、実際に行動を起こす一歩を踏む姿勢を持つことができる
<p>下位学習目標</p>
<p>【知識・技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 「平和」の定義について、昨年度の自分と比較しながら、語ることができるようになる。 ② 昨年度の自身のプロジェクトを踏まえ、興味・関心のある「平和」に関わる社会課題について、先行研究及びフィールドスタディーから、より効果的かつ深い情報収集を行うことができようになる。 ③ グループでのプロジェクトを通じて、物事を多面的に捉えることができるようになる。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 興味・関心のある「平和」に関わる社会課題の解決にむけた具体的なアクションについて、昨年度の自身のプロジェクトを踏まえ、より効果的な方法で企画・立案することができるようになる。 ② プロジェクトにおける上位目標達成のため、グループメンバーの意見を柔軟に取り入れることができるようになる。 ③ 上記を踏まえて、自身が興味・関心のある「平和」に関わる社会課題について、グループメンバーの特性を踏まえた上で、同じことに興味関心がない人に対しても、効果的なプレゼンテーションができるようになる。 <p>【学びに向かう力・人間性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 様々な有者や団体へのアプローチ・具体的なプロジェクトの実施を通じて、「自分の準備に相応して、自ら動けば何かしら必ず拓かれる」ことを実感する。識

授業日	6/4(火)	1 学期授業回数	5 回目 / 全 8 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 【学びに向かう力・人間性】 ----- 本時の具体的な目標 ① (グループ探究班) 関西学院大学災害復興制度研究所 羅先生へのインタビューに向けての準備 ② (グループ探究班) 関西学院大学災害復興制度研究所 羅先生へのインタビュー ③ (個人探究班) これまでのインタビュー等の整理 ④ (個人探究班) 今後の自身の研究についての方向性の決定・まとめ		
時間 授業内容	5 限	目標の確認 (グループ探究班) 羅先生へのインタビューに向けて、①これまで調べた事の整理 ②問いの確認 をグループで行う (個人探究班) これまでの調査の整理	
	6 限	(グループ探究班) 羅先生からのレクチャーとインタビュー (個人探究班) 整理を踏まえた今後の方向性についてまとめ、次のインタビュー先への質問を まとめる	
評価方法	(グループ探究班) 羅先生からのレクチャーに向けた課題及び、学びの記録のルーブリック評価 (個人探究班) まとめた結果についてルーブリックで評価		
宿題指示	(グループ探究班) アポを取っているフィールドワーク先への返信と、羅先生からの課題図書を読み込み (個人探究班) 次回のインタビュアーより提示された先行研究を読み込み		